

令和元年度(2019年度)北海道虻田高等学校 学校関係者評価書

[学校関係者評価：学校評議員及びPTA役員]

学校教育目標

- 1 知性を高め、自ら学ぶ力を育てる。
- 2 情操を豊かにし、思いやりの心を育てる。
- 3 心身ともに鍛え、実践する力を育てる。

育成を目指す資質・能力

社会の中でたくましく「生きる力」を養う。

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、商業に関する専門的な知識を理解し、技術を身に付けるようにする。
- (2) 地域に関する課題を発見し、社会における他者との関わりの中でコミュニケーション力を高め、思考力や創造的に解決する力を養う。
- (3) 社会人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

自己評価

自己評価の評価基準 A：そう思う B：どちらかといえばそう思う
C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない

学校関係者評価

学校関係者評価基準→ [4：たいへんよい 3：よい 2：やや不十分 1：不十分]
※4段階の評価で①～⑥までの評価とご意見の記入をお願いいたします。

①学校経営

※数字は(%)で表示(以下同じ)
上段：今年度 下段：昨年度

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
学校経営	学校教育目標は生徒の実態や保護者、地域住民の願いを反映させている	14 21 %	57 43 %	29 21 %	0 14 %	・学校だよりを保護者・生徒向け(10回)と今年度より地域住民向け(5回)を発行。
	学校の教育方針や教育活動について、保護者や地域住民へ積極的に情報提供している	21 21 %	79 57 %	0 21 %	0 0 %	新聞広告の掲載。学校PRパンフレットの発行。PTAだより(3回)の発行の継続。
	全ての教員が共通理解に基づき協力して教育活動を進めている	21 7 %	43 57 %	36 29 %	0 7 %	・学校ホームページの更新(今年度のアクセス数約56,000)。 ・朝の職員打合せの有効活用。

①学校経営

自己評価の適切さ	3.0
改善策の適切さ	3.0

学校関係者評価者の意見	・前年度の反省を踏まえ、改善されている。 ・ホームページの活用は、まだまだ足りないと思う。ネット環境を利用した卒業生も交流できる場があると良いと思う。
-------------	--

②教育課程（課題）

- ・新学習指導要領に対応した教育課程の編成・・・・・・・・・・・・・研修会等の参加促進。
- ・シラバスの有効活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・完成時期を早める。
- ・成績不振者（スマホゲームによる悪影響）対応・・・・・・・・・・・・・平成29年度より実施した「タイムマネジメントシート」等の取組。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
教育課程	基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている	38 38 %	62 50 %	0 14 %	0 0 %	・遊覧船ガイドをはじめとした学校設定科目「地域ビジネス」や「総合的な探究の時間」の取り組みに関わる地域との連携を強化する。 ・新学習指導要領に沿った適切な教育課程の編成と、生徒の実態に応じたきめ細かな授業展開・改善を図っていくための校内研修を充実させる。
	商業に関する学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている	38 29 %	54 50 %	8 14 %	0 7 %	
	生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている	38 36 %	54 57 %	8 7 %	0 0 %	
	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし学習指導法や評価法等の研修に努めている	15 14 %	77 64 %	8 21 %	0 0 %	

②教育課程

自己評価の適切さ	3.0	学校関係評価者の意見 ・成績不振に関しては、学校だけで改善するのは難しいと思うが、先生方は色々取り組んでいると思う。 ・学校のための授業だけではなく、校外にての授業(実践)は大切かと思う。また地域の歴史等も学ぶ事も必要かと思う。 ・社会との関わりを早く持つことで、他の人とどう関わって行けば良いのかを考える機会としてほしい。
改善策の適切さ	3.0	

③研修（令和元年度実施分）

- ・胆振教育局による新学習指導要領についての説明
- ・地域連携特例校・協力校による遠隔システムを利用した保健体育科の連携授業

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
研修	校内研修は充分に実施している	14 7 %	57 64 %	29 29 %	0 0 %	・教育課程編成に向け、校内研修の充実と各教科における校外研修会への参加を図る。 ・不登校生徒に対応するための研修を深め、校内で一致した指導にあたる。
	校内で情報の共有を積極的に実施している	21 21 %	64 50 %	14 29 %	0 0 %	

③研修

自己評価の適切さ	3.0	学校関係評価者の意見 ・不登校の生徒に対して、先生方は色々に対応している。 ・不登校生徒についての研修は大切かと思うが、全教員が一致した指導に当たれば良い方向に行くと思う。 ・生徒の心の中に入って指導するよう頑張してほしい。
改善策の適切さ	3.0	

④生徒指導（令和元年度報告）

- ・ 特別指導件数 3 件（令和 2 年 2 月 2 1 日現在）

領域	評 価 項 目	A	B	C	D	改善策
生徒指導	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応が適切に行われている。	2 9 2 1 %	6 4 7 1 %	7 7 %	0 0 %	・ いじめや生徒指導事故について早期の情報収集と迅速な対応を行っていく。 ・ 公共の場における言動については日常的な指導を継続して行い、適切な生徒指導を行っていく。
	生徒の服装、頭髪などに対して適切な指導を行っている	2 1 2 9 %	6 4 6 4 %	1 4 7 %	0 0 %	
	生徒に基本的生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている	1 4 1 4 %	7 1 7 1 %	1 4 1 4 %	0 0 %	
	生徒指導にあたり十分に保護者と連携をとっている	2 1 2 1 %	7 1 5 7 %	7 2 1 %	0 0 %	
	生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている	4 3 6 4 %	5 0 3 6 %	7 0 %	0 0 %	

④生徒指導

自己評価の適切さ	3. 3	学校関係評価者の意見 ・ 今の子供たちは、とても真面目だと思うが、問題の解決に当たっては、家庭と連携して進めて欲しい。 ・ その都度気がついたときに、全職員が適切に指導する事が大切である。
改善策の適切さ	3. 3	

⑤進路指導（課題）

- ・ 主体的に進路活動に取り組める生徒が少ない。年々、基礎学力・自己表現力が不足している生徒の状況が顕著になってきている。・・・・・・・・日常生活からの進路指導、学び直し、夏期講習、冬期講習の強化

（進路状況）

- ・ 2 月 2 5 日現在 1 5 名進路決定（別紙 6 ページ）

領域	評 価 項 目	A	B	C	D	改善策
進路指導	3 カ年を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている	2 1 5 7 %	7 1 3 6 %	7 7 %	0 0 %	・ 生徒の実態を踏まえ、進路シラバスを作成する。 ・ 教育改革に関する情報をはじめ、就学支援金等の情報、社会に求められる資質等について、社会に出て行く上で生徒に関わる情報を遺漏なく伝え、自己選択していく姿勢を養う。
	進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている	1 4 2 9 %	7 9 5 7 %	7 1 4 %	0 0 %	
	進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている	1 4 2 9 %	8 6 5 7 %	0 1 4 %	0 0 %	

⑤進路指導

自己評価の適切さ	3. 5	学校関係評価者の意見 ・ 教職員の親身になっての指導が、進路結果に現れている。 ・ 仕事上のコミュニケーションスキルやトラブルの解決など社会人基礎力の育成をお願いしたい。 ・ 卒業後もアドバイスをする頼られる体制をお願いしたい。 ・ 世の中で何をやっていくのか、どう生きていくのか、生き方の指導が必要である。
改善策の適切さ	3. 5	

⑥特別活動（課題）

- ・生徒会活動、部活動の活性化・・・・・・・・部活動の加入率の低下が続いている。生徒会活動を通じて、部活動の活性化や生徒会行事の内容の見直しを図っていく。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
特別活動	生徒はボランティア活動に積極的に参加している	29 43 %	36 21 %	36 36 %	0 0 %	・生徒数の減少に応じて、学校行事や生徒会活動について、見直しを行い、継続して活動できるようにしていく。
	生徒は学校行事や生徒会活動に積極的に参加し、充実した学校生活になっている	29 14 %	43 38 %	29 50 %	0 0 %	
	モラルについて考えさせたり、社会のルールについて学ぶ機会を適切に設けている	14 14 %	79 50 %	7 36 %	0 0 %	
	健康管理や安全指導を適切に行っている	21 29 %	79 50 %	0 21 %	0 0 %	
	生徒は交通安全に心がけ、交通ルールを守って登下校している	21 43 %	79 43 %	0 14 %	0 0 %	
	心や身体の悩みについて相談しやすい環境をつくっている	21 64 %	64 21 %	14 14 %	0 0 %	
学校課題	総合的な探究(学習)の時間の取組について適切に行っている。	29 %	57 %	14 %	0 %	・地域学習と進路学習を融合した「ふるさとキャリア教育」として取り組んでいる。 ・日常的・継続的な指導を引き続き行う。 ・職安と連携をとりながら防止に向けて取り組む。
	規範意識のない生徒及び家庭の協力が得られない場合の指導について適切に行っている	0 %	79 %	21 %	0 %	
	早期離職者防止に向けて有効的な指導を行っている	0 %	86 %	14 %	0 %	
	施設や設備は充実している	15 29 %	69 36 %	8 36 %	8 0 %	
	家庭との連携を積極的に行っている	20 14 %	53 50 %	20 36 %	7 0 %	
	生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている	14 14 %	57 43 %	29 43 %	0 0 %	

⑥特別活動

自己評価の適切さ	3. 3
改善策の適切さ	3. 3

学校関係評価者の意見	・先生方は、色々と生徒にあわせて考えて指導していると思う。 ・生徒の人数が少ない関係で、部活動は大変だと思う。チームが編成できないが個人で出来る部活動を考える事も必要だと思う。
------------	---